

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>		<b>-</b>	<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.2</b>	0.15			<b>3.2</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>		
1.2 遮音						<b>3.6</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		T-2以上の建具を採用				5.0	0.30	<b>3.0</b>		
2 界壁遮音性能						3.0	0.30	<b>3.0</b>		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	0.20	<b>3.0</b>		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.20	<b>3.0</b>		
1.3 吸音						<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>		
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.6</b>	0.35			<b>2.6</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50			
1 室温						3.0	0.60	<b>3.0</b>		
2 外皮性能						3.0	0.40	<b>3.0</b>		
3 ゾーン別制御性						3.0	-			
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>		
2.3 空調方式						3.0	0.30	<b>3.0</b>		
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.2</b>	0.25			<b>3.2</b>
3.1 昼光利用						<b>4.2</b>	0.30			
1 昼光率		昼光率 4.4%				5.0	0.60	<b>3.0</b>		
2 方位別開口							-	<b>3.0</b>		
3 昼光利用設備						3.0	0.40	<b>3.0</b>		
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30			
1 昼光制御						3.0	1.00	<b>3.0</b>		
3.3 照度						<b>2.0</b>	0.15	<b>3.0</b>		
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>		
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.4</b>	0.25			<b>3.4</b>
4.1 発生源対策						<b>3.0</b>	0.50			
1 化学汚染物質						3.0	1.00	<b>3.0</b>		
4.2 換気						<b>3.6</b>	0.30			
1 換気量						3.0	0.33	<b>3.0</b>		
2 自然換気性能						3.0	0.33	<b>3.0</b>		
3 取り入れ外気への配慮		給気口と排気口を面で分ける計画				5.0	0.33	<b>3.0</b>		
4.3 運用管理						<b>4.0</b>	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御		喫煙スペースを設けない(禁止)計画				5.0	0.50			
<b>Q2 サービス性能</b>							<b>0.30</b>			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.4</b>	0.40			<b>3.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ・収納性						3.0	-	<b>3.0</b>		
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	<b>3.0</b>		
3 バリアフリー計画						3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性						<b>4.0</b>	0.30			
1 広さ感・景観						3.0	0.50	<b>3.0</b>		
2 リフレッシュスペース						3.0	-			
3 内装計画		パス、模型等を用いた検証を実施				5.0	0.50			
1.3 維持管理						<b>3.5</b>	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		取組み項目8項目				4.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.1</b>	0.30			<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.0</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						<b>3.6</b>	0.20			
1 空調・換気設備		評価する取組み3つ				5.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		評価する取組み3つ				4.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30	-	-	<b>3.4</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	<b>3.4</b>
1	階高のゆとり	階高4.5m, 4.7m, 6.0m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.136	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			BPI <sub>m</sub> =0.63	<b>5.0</b>	0.20	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			通風利用が可能な計画	<b>4.0</b>	0.10	-	<b>4.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.69	<b>4.1</b>	0.50	-	<b>4.1</b>
<b>4 効率的運用</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				<b>3.0</b>	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.8</b>	0.20	-	-	<b>3.8</b>
1.1 節水			節水型器具の利用	<b>4.0</b>	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				<b>3.7</b>	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水の中水利用	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.6</b>	0.60	-	-	<b>3.6</b>
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			断熱材、ビニル床材、タイルカーペット	5.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			内装材と設備が錯綜せず容易にそれぞれを取り外せる計画	4.0	0.20	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.6</b>	0.20	-	-	<b>3.6</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			化学物質排出把握促進法の対象物質を含有しない建材を4種採用	<b>5.0</b>	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>3.0</b>	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物と同等の計画	<b>3.2</b>	0.33	-	<b>3.2</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>3.3</b>	0.33	-	<b>3.3</b>
2.1 大気汚染防止			シックハウス対策を実施	<b>4.0</b>	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				<b>3.0</b>	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>3.2</b>	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場に至る経路上に十分な滞留スペースを確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>3.0</b>	0.33	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				<b>3.0</b>	0.40	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				<b>3.0</b>	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				<b>3.0</b>	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	